

第 164 号

発行日

2025. 3.10

Super Highway

春闘速報 15

J R 東労組バス関東本部

1月の実質賃金3カ月ぶりのマイナス

1月の労働者が受け取った給与総額は、前年の同時期と比べ2.8%増加した一方で、実質賃金は3カ月ぶりのマイナスとなりました。厚生労働省が発表した「毎月勤労統計調査」によると、1月の「現金給与」の総額は平均29万5505円で、前年の同じ月と比べて2.8%増え、37カ月連続でプラス。一方で物価の影響を考慮した「実質賃金」は、前年の同月と比べ1.8%減り、3カ月ぶりのマイナスとなりました。

気持ち良く仕事ができる回答を!!

なかまの声

物価上昇に対して、給料が追い付かない。

毎年物価上昇されても我が社は低額回答、社員の生活は厳しくなるばかり満額回答を望む。

乗務員不足は、賃金で補って下さい。

会社を維持・成長させたいと本気で思うのであれば、従業員に金を払うしかない。

物価上昇、賃金上昇、満額回答願います。

生活に必要な維持費が高騰してるなか現状の給与では老後への貯蓄ができる金額が少ない状態です。人として老後を安泰に過ごせる為にもぜひお願いします。

従業員は皆、日々の業務に一生懸命に取り組んでいます。従業員の努力が好業績に繋がっていると考えます。従業員への報いを満額回答という目に見える形で強くお願いしたい。

J R バス 関東で働く仲間を一つに!